

目次 Contents

- 3 【特集】 フィルム・コミッションの
魅力と効果
- 4 【特集】 ロケ支援映画『樹海村』
全国劇場公開
- 6 【特集】 スソノ・デジタル・クリエ
イティブ・シティ構想って何だ？
- 8 【特集】 すそのんバースデー・
ウィーク2021
- 9 路線バスの利用状況
- 10 フォトグラフ
- 12 所得税などの確定申告2/16(火)～
- 14 2/23は“富士山の日”／駅前広場が
新しくなります
- 15 市の魅力を発信する広報特派員を募
集／住宅用火災警報器の設置で火災
から命を守る
- 16 駿東地区交通災害共済に加入しませ
んか／まちを守る消防団員を募集
- 17 インフォメーション
- 21 図書館だより
- 22 救急協力医
- 24 裾野っ子／すこやかタウン

表紙 Front cover



無病息災を願って

1月9日(土)、佐野一グラウンドで、無病息災を願ってどんど焼きが行われました。竹の先に刺した団子を焼く親子らが、火の回りに輪をつくり、参加した子どもたちは焼きたての団子を頬張りました。



846点の中から特賞受賞

杉山 晃也さん (17歳・公文名4)

杉山晃也さんは、第39回（令和2年度）^{したい}肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展の写真部門で、全846点の作品の中からP1（特賞）に輝きました。

現在、晃也さんは県東部支援学校高等部の2年生で、手や足を動かすための筋力が低下する先天性筋ジストロフィーという病気のため、清水町の病院に入院しています。



『溢れ出す希望』

写真撮影は、学校の訪問教育授業の一環で、病院を訪れた先生の指導を受け、アプリを使い発声することでシャッターを切り撮影します。

受賞した作品のタイトルは『溢れ出す希望』で、担任の船越先生がつけました。先生は「授業のときに、晃也さんがいつもにこにこして撮影する姿を見て、これだと決めました」と話します。

晃也さんは昨年10月末に気管切開を行い、喋れなくなりました。母親の奈々さんは「術後の戸惑う姿を見て落ち込むことがありましたが、今回の受賞報告は私の人生の中で1番うれしい出来事となりました。障がい者でもすごい才能を持っている子がいることを皆さんに伝えたいです。本人が頑張っている証しを形に残し、これからは私が晃也のさらなる秘めた力を見つけ出していきます」と力強く語ってくれました。

写真提供▶ 社会福祉法人
日本肢体不自由児協会



susonobito No.23